

港区立港南中学校

令和 3 年度 授業改善推進プラン

1 区学力調査の結果を踏まえた課題

国語	区学力調査において1年生は基礎の問題で全国平均より2.0ポイント、活用の問題は4.3ポイント上回った。2年生は、基礎の問題で全国平均より2.2ポイント下回り、活用の問題は0.3ポイント下回った。3年生は基礎の問題で全国平均5.9ポイント、活用の問題は4.3ポイント上回った。1・3年は言語についての知識・理解は概ね定着している。全学年通して、根拠を明らかにして、自分の考えを話したり書いたりする活動を充実させる必要がある。
社会	区学力調査において、1年生は基礎の問題で全国平均より1.4ポイント、活用の問題は全国平均より4.3ポイント上回った。2年生は基礎の問題で全国平均より2.1ポイント、活用の問題は全国平均より5.1ポイント上回った。3年生は基礎の問題で全国平均13.6ポイント、活用の問題は全国平均より6.3ポイント上回った。3年生は基礎の問題で全国平均を大きく上回っているが、1・2年生は基礎の問題よりも活用の問題のほうが全国平均より高い数値が出た。1・2年生は地図の読み取りなどの社会科の基礎的な知識や技能の定着に課題が見られた。一方、3年生は活用の問題の「思考・判断力」に課題が見られた。そのため、グラフや図などの資料の読み取りや読み取ったことを説明する活動を充実させる必要がある。
数学	区学力調査において、1年生は基礎の問題で全国平均とほぼ同じで、活用の問題は全国平均より2.4ポイント上回った。2年生は基礎の問題で全国平均より0.9ポイント上回り、活用の問題は全国平均より3.9ポイント上回った。3年生は基礎の問題で全国平均より1.5ポイント上回り、活用の問題は全国平均とほぼ同じであった。1年生は基礎的な問題、特に計算問題を中心に取り組み定着を図る必要がある。2・3年生は、基礎的な知識や技能は概ね定着しているが、数学的な思考を問う問題に関して抵抗がある生徒が少なくない。全学年とも解きやすい問題には取り組むが応用問題は投げ出してしまい、無回答としてしまう生徒がいる。与えられた条件を整理し、筋道を立てて、証明したりそれを検証したりする活動を充実させ、粘り強く学習に取り組ませる。また、グループ活動を積極的に行い、自分の考えを自分の言葉で表現し、相手に伝える活動に取り組む必要がある。
理科	区学力調査において、1年生は基礎の問題で全国平均より0.9ポイント、活用の問題は全国平均より2.1ポイント下回った。2年生は基礎の問題で全国平均より6.3ポイント、活用の問題は全国平均より0.7ポイント下回った。3年生は基礎の問題で全国平均とほぼ同じで、活用の問題は全国平均より2.2ポイント上回った。1年生はカテゴリー別でみると、知識・技能に関しては区平均と同じであったが、記述式解答は区平均よりもかなり上回り、記述に関しては得意なことがわかる。2年生はカテゴリー別でみると、生命の領域が6.3ポイント低い状態であった。人体に関しての内容の復習に努めていきたい。3年生はカテゴリー別でみると、エネルギー領域が区平均より5ポイント上回っている一方、他領域は下回っていた。粒子、生命、地球領域の復習に努めていきたい。

外国語	区学力調査において、2年生は、基礎の問題で全国平均より5.2ポイント、活用の問題は全国平均より5.0ポイント上回った。観点別では、言語・知識は全国平均より5.5ポイント、表現の能力は3.6ポイント、理解の能力は2.6ポイント上回った。3年生は基礎の問題で全国平均より7.3ポイント、活用の問題は全国平均より10.1ポイント上回った。観点別では、表現の能力が全国平均より7.3ポイント、言語・知識と理解の能力は5.2ポイント上回った。2年生は基礎基本の力は付けているが英語の運用については、身に付いていないため、今後、授業で取り入れていく必要がある。さらには、関心・意欲も区平均より2.8ポイント低いことから、授業ではわかることから応用へと難易度を調整して、生徒が自信をもって取り組めるよう工夫が必要である。3年生は英語を運用することは慣れているが、基礎基本が定着しているとは言えないので、さらに基礎的・基本的な事項の定着を図りたい。
-----	---

2 各教科の具体的な授業改善

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
国語	知識・技能を実生活で活用するための思考力・判断力・表現力の育成を目指す。	・目的や相手に応じた言語活動に取り組む授業づくりの工夫が必要である。課題解決的に自分の考えを述べる力をつけるために、発問・指示をより具体的にし、課題をとらえ、書く目的を意識させて取り組ませる。 ・伝えたい内容や自分の考えについて根拠を明確にして、話したり書いたりすることに課題があるので、その克服に向けた教材の選定・提示をする。天声人語・社説など、新聞を活用した学習を取り入れる。効果的な構成の仕方や聞き取ったメモなどを相互に分析をさせる指導を実施する。 ・国語で学んだことを日常生活における読書につなげる授業展開を工夫する。読書活動を通して自分の考えを広げ、深めさせる取り組みを行う。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
社会	基礎的な知識・技能の定着やグラフや図などの資料を適切に読み取り、読み取った情報を表現する資質・能力の育成を目指す。	・様々な写真や地図、グラフ等の資料を提示し、何が読み取れるのかを考えさせる活動を多く取り入れる。 ・ペアワークやグループワークを通して、読み取ったことを他者に説明するなどの活動を取り入れる。 ・定期的に小テストを行い、基礎的な知識・技能の定着を図る。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
数学	基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり表現・処理したりする技能を身に付ける。数学のよさを実感	・毎時間授業の始めに、計算ドリル演習を行い、基礎学力の定着を図る。 ・「教師からの説明」、「理解確認」、「理解深化」、「自己評価」の4つ段階からなる「教えて考えさせる授業」を実践し、学力の低い生徒でも基礎的な知識・技能を身に付けて

	し、数学を活用して粘り強く考えたり、問題解決の過程を振り返って評価・改善したりする態度を養う。	高度な課題解決に参加できること、また学力が高い生徒や先取り学習している生徒でも達成感・充実感が味わえることを目指す。 ・習熟度別少人数授業を展開し、ペア活動・グループ活動等を取り入れ、与えられた課題を整理し筋道を立てて考えたり、発表したりする機会を作ることで、他者と自分の考えを比較して共通点や相違点を整理し、数学的な考えを深めさせていく。 ・授業振り返りシートを用いて、理解度等を自己評価させることで生徒のつまづきを把握し、次の指導に生かすようにする。
--	---	---

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
理科	区・全国平均より下回っている観察・実験の技能に関する資質・能力の育成を目指す。	観察・実験を行う際、その趣旨を教員が説明して行っているが、これでは生徒同士の主体的・対話的な深い学びに結びついていない。そこで、観察・実験の前に本時の目的や方法を話し合わせることで、観察・実験の技能向上に結びつけていきたい。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
音楽	表現及び鑑賞の幅広い活動を通して音楽に対する感性を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を主体的・協働的に育成する。	・振り返りシートを活用し目標達成に向けて自己評価を行う。3年間を見通し、発達の段階に応じた指導方法や教材を工夫していく。 ・表現では知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい表現ができるようにする。 ・鑑賞では生徒が主体的に音楽を聴いて、音楽のよさや美しさを味わい自分の言葉で表現できるようにする。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
美術	感性を豊かに働かせながら、主体的に造形的なよさや美しさを感じ取り、表現する力の育成を図る。生活を美しく豊かにする造形や美術の役割を感じ、鑑賞する力を養う。	・より意欲的に生徒が取り組めるような題材選択と授業展開を工夫する。 ・題材において設定した「知識及び技能」や「思考力、判断力、表現力等」の質・能力を生徒が学習の中で主体的に身に付けようとしたり、発揮しようとしたりできるようにスケッチのほか、文章やマッピング等で自分のアイデアを表現できるようなワークシートを活用し、制作過程で確認できるようにする。 ・作品を掲示することで互いの良さに気づき、作品作りの刺激としての鑑賞力も高めていく。 ・タブレットを活用し世界各地の美術館を訪れたり、作品を調べる活動を通し、作品に触れるバーチャルな体験を重ねることで、美術作品への興味を深め生涯にわたって

		豊かな感性を高めるきっかけとする。
--	--	-------------------

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
保健体育	運動の基礎・基本を身に付けるとともに身に着けた技術をもとに試合や発表に生かす思考力・判断力・表現力を身に付ける。 また、仲間と協力し自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて努力を継続する粘り強さを身に付ける。	・動画教材、ICT 機器を活用し、自分の動きを確認することによって基本的な技能を定着させていく。また、自分の運動の良いところ、改善点を理解し、技能の向上に努める。 ・提示された課題に向けて、仲間と協力し、相談しながら合理的な解決に向けて議論する場面を設定する。その学び合いを通して自分の理解をさらに深めていく。 ・何ができるようになればいいのか、何を目的として話し合いなのかを毎時間で確認し、課題解決に向けて粘り強く努力する態度を育てていく。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
技術・家庭	互いの意見交換し情報共有する中で、創意・工夫ある作品作りをさせる。	・多種多様な情報収集する中で、正しい判断・処理を積み重ね、分かりやすく図表を適切に用いて発信ができるように声掛けをする。 ・ものづくりを通して、創造力を高めさせ、意欲的に取り組めるよう個別に対応していきたい。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
外国語（英語・国際）	・基礎基本を身に付ける。 ・英語の運用能力を身に付ける。	・少人数授業において、個人差に応じた授業を目指す。 ・授業内で単語や文構造の導入を丁寧に行い、授業内の練習や家庭学習を通して、積み重ねた学習をさせる。 ・授業内で单元ごとに産出活動を取り入れて、英語を使う機会を増やす。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
道徳	・規範意識を育む。 ・人権感覚を磨く。 ・望ましい人間関係を構築する。 ・情報モラルを育む。 ・自立心を育む。	・他者を思いやる心や社会生活を送るための基礎となる規範意識を育てる。 ・対話を通して、互いの価値観や考え方を尊重しあい、人権感覚を磨く。 ・互いの良いところを認め合ったり、題材の内容について話し合ったりする活動を通して、周囲の人々と望ましい人間関係を構築する。 ・情報モラル等を身に付け、グローバル社会を生き抜くことのできる資質を育む。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
特別活動	・集団や社会の一員として自ら進んで責任を果たす態度 ・互いの人格を尊重し協力する態度 ・家庭や社会における生徒同士の望ましい人間関係を築く力	・生徒の自己啓発能力を高めるために、判断や選択、意思決定など、生徒自らが考える機会や場面を積極的に設定し、自主的・実践的な態度を育成する指導を累積する。 ・学校行事において、生徒同士の交流を図り、行事を通した生徒相互の関わり合いを深める。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
総合的な学習の時間	・「人権」、「防災」、「共生」、「環境」等をテーマに発達の段階に応じた系統性のある活動を通して、自ら課題を設定し、学び、解決する力を育成する。 ・キャリア教育を充実し、生きる力の基礎を育てる。	・地域の人材や施設、事業所等を有効に活用した講演会、訪問学習、体験学習等を実施し、課題解決の場面を多く設定する。 ・環境問題に関心をもち、ものを大切にする心と環境に対する人間の責任と役割を理解し、環境保全のための実践的な態度を身に付けさせるよう、運河学習及びSDGsなどの活動を充実させる。 ・職業調べ、職場体験、進路学習を通して、自分の進路や生き方について考え、自己決定できる力を育成する。